

あじさいワーク 二年①

問題数は15問。①から③の10問は各5点、④、⑤の5問は各10点とし、百点満点とする。

- ① サッカー ② シャワー
③ シンバル ④ マラソン

(出題意図)

かたかなの字形について問う問題。①②では、促音、拗音、長音の表し方について、③④では形が似ていて間違いやすい字について出題している。「シ」と「ン」と「ソ」は、高学年においても書き分けができていない場合があり、確実な定着を図りたい。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p 39 二下 p 32・33〕

- ② ①番 ②矢 ③親

(出題意図)

新出漢字の定着について問う問題。低学年の傾向として、まず①「番」のように画数の多い字の定着率が低い。また、②③のように似ている漢字の混同(「矢」と「失」、「親」と「新」)が見られる。新出漢字の指導に併せ、つまずきの多い漢字に関しては、適宜、取り立てて復習の機会を設けたい。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p 35・105・126〕
〔二下 p 18・143〕

- ③ (左記の3か所)

は	「
、	ぼ
だ	く
れ	を
な	よ
の	んだ
」	だ
	の

(出題意図)

丸(。)、点(。)、かぎ(「」)の記述についての問題。高学年においても句読点

解答と出題意図

やかぎの使い方に迷う児童は多い。特に3か所目の(。、)を同じますに書くことについて徹底を図りたい。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p 65〕

- ④ ① 青色のゼリー
② ぬいぐるみ
③ チョコレート

(出題意図)

「様子を表す言葉」について問う問題。ここでは、直喩(「くのような」「くみたいな)」があると、たとえを用いてようすをわかりやすくしていることをおさえる。また、「様子を表す言葉」として擬音語・擬態語についても同様の理解を図る。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p 57〕

〔二下 p 68・p 111〕

- ⑤ ①こおりを入れると、水があふれた。

②ボタンをおすと、うさがとび出た。

※以下の点について共通理解する。

1・文章表現の多少の違いは許容する。

(例・あふれた。あふれました。あふれ出ました。こぼれた。・・・)

2・絵の解釈についても多少の違いは許容する。(例・カエル・おもちゃ・・・)

3・誤字、脱字は一か所に付き一点減点・

4・「く」と「」という表現が含まれていない場合は、間違い(0点)。

(出題意図)

二つの事柄を一文にする問題。二文を一文にすること(もしくは、一文を二文にすること)は、高学年においても苦手な児童が多い。また、条件付きの作文にも低学年から慣れていくことが求められている。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p 15〕

あじさいワーク二年②

解答と出題意図

問題数は10問。すべて10点とし。百点満点とする。

- 1 ① しゅご ② じゅつご

(出題意図)

文についての基本的な知識・理解を問う問題。主語・述語は高学年でも意味を理解していない児童が多く見られる。まずは、低学年において主語・述語という用語を覚えること、そして、それを文の中からきちんと見つける力の定着を図りたい。

(関連する教科書の内容)

〔二下 p19〕

- 2 「こうたいでつかったり、じゃんけんできめたりしているから」

※ 「書きぬき」という条件ではないので、多少、解答と表現が違ってよいが、以下の点について共通理解する。

- 1・誤字、脱字は一か所に付き一点減点
- 2・「こうたいでつかう」、「じゃんけんできめる」のうち、一方しか書いていない場合は5点減点。
- 3・文末に「くから」という表現が含まれていない場合は、間違い(0点)。

(出題意図)

決まった文章の表現について問う問題。ここでは、理由(わけ)を答える表現を確かめている。理由を答える表現は文章だけでなく、教室での受け答えの基本ともなる。確実に低学年において身につけさせたい。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p26・28〕

- 3 イ・つぎに

(出題意図)

文のつながり(順序)について、基本的な知識・理解を問う問題。文の始まりに注目することでつながりがわかること

を理解させる。他の接続詞についても復習を重ね、「書くこと」の表現の中で正確に使うことができるようにさせたい。

(関連する教科書の内容)

〔二下 p38〕

- 4 ① ア(はじめ)イ(中)ウ(おわり)

(出題意図)

文章の構成の基礎的な知識・理解を問う問題。低学年において「はじめ」「中」「おわり」というまとまりの意識は各領域において確実に身につけさせなければならぬ。中学年における段落相互の関係を理解する土台となる。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p26・p56・p60・p101〕

〔二下 p82・p117〕

- ② 「ぼくが、目になろう。」

(出題意図)

文章の記述についての基本的な知識・技能を問う問題。また、「書くこと」の推敲の意識にもつながるので、丸(○)、点(・)の使い方とともに低学年において確実に身につけさせたい。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p63・65〕

〔二下 p120〕

- 5 ① じんぶつ ② あらすじ

(出題意図)

「読むこと」における基本的な知識・理解を問う問題。用語の意味をきちんと理解することが、内容の正確な読み取りの土台となる。「題名」や「作者」などとあわせ、確実な定着を図りたい。

(関連する教科書の内容)

〔二上 p13・p61〕

〔二下 p108〕